

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年												2023年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~1日	1月 ~8日	1月 ~15日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	6	8 (15)	8
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	4	7 (9)	10
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	3	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	1	1 (3)	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	1	1 (2)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第2週(1月9日~1月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2							2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	6		1	1		4		
新型コロナウイルス感染症	28,598	新型コロナウイルス感染症	28,598	3,399	2,280	2,737	800	12,262	1,915	5,205

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和5年第2週(1月9日～1月15日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第2週に12,262件の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、依然として多い状況です。

感染拡大を防ぎ、医療のひっ迫を回避するため、一人一人が感染予防対策を徹底することが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり5.59人の報告があり、前週の約2.1倍に増加しました。また、1月16日に広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されました。マスク着用、手洗い、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第2週 A型:83人、B型:1人

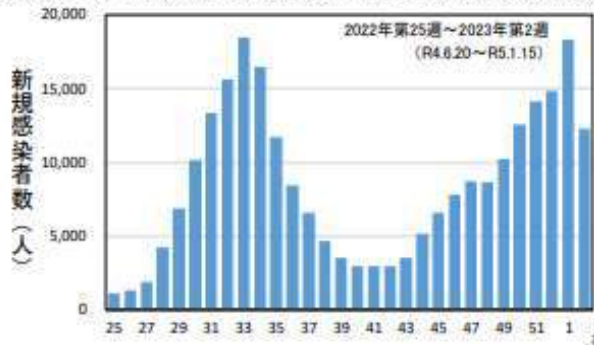
【参考】今シーズン初の市内インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/316068.html>

3 感染性胃腸炎

定点当たり8.54人と、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	207	5.59	12.25	↑	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.08	
	咽頭結膜熱	4	0.17	0.26		眼科	RSウイルス感染症	15	0.63	0.29	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.37			急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	205	8.54	6.70	↔	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.38	
	水痘	1	0.04	0.46		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	1	0.04	0.23			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	4	0.17	0.25			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ↔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	30歳代、70歳代
5	梅毒	4	4	20歳代、40歳代、50歳代、60歳代